



株式会社ヒガシトウエンティワン (9029) 個人投資家向けIRセミナー



2023年2月10日

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

6

サステナビリティ

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

6

サステナビリティ

名称	株式会社ヒガシトゥエンティワン
本社所在地	〒540-0013 大阪府中央区内久宝寺町3-1-9
設立	1944年12月20日
代表者	取締役 代表執行役社長 児島 一裕
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード：9029)
資本金	10億円
従業員数	連結：1,362名（2022年9月30日現在）
グループ会社	8社



創業期 (-1970年代)

- ・1944年 大阪市東区内の運送会社13社が統合し、大阪東運送株式会社設立
- ・1947年 日本生命保険相互会社が資本参加
- ・1968年 倉庫事業を開始
- ・1979年 東京営業所開設し、首都圏へ進出



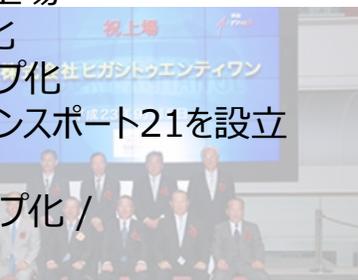
事業多角化 (1980年-2000年代)

- ・1988年 ドキュメントサービスを開始
- ・1989年 産業廃棄物収集運搬業許可を取得
- ・1996年 ビル内デリバリー事業を開始
- ・2002年 ヒガシトゥエンティワンに社名変更
- ・2003年 福祉用具レンタル及び販売事業を開始
- ・2005年 ジャスダック証券取引所に株式を上場



総合物流企業へ (2010年代以降)

- ・2011年 東京証券取引所市場第二部に上場
- ・2016年 ユートランスシステム(株)をグループ化
- ・2017年 (株)イシカワコーポレーションをグループ化
- ・2018年 (株)FMサポート21を設立 / (株)トランスポート21を設立
- ・2019年 指名委員会等設置会社へ移行
- ・2020年 (株)ワールドコーポレーションをグループ化 / ヒガシオフィスサービス(株)を設立
- ・2022年 山神運輸工業(株)をグループ化 / (株)旅人をグループ化



特徴的な取組

1968年に業界でいち早く“車両と荷物のマッチングサービス”（備車制度）を導入、協力会社を囲い込み

1996年に東京オペラシティビルにデリバリーセンターを開設、「館内物流事業」の先駆け

1986年にオフィス移転専門部署を設立
2020年に全国でも珍しいオフィス移転専門会社（ヒガシオフィスサービス(株)）として分社化

2016年にインフラ会社向けとしては珍しい、資材の購入・配給数の管理・調整業務を、2021年からは電設資材の仕入れ・販売業務（商社機能）をスタート

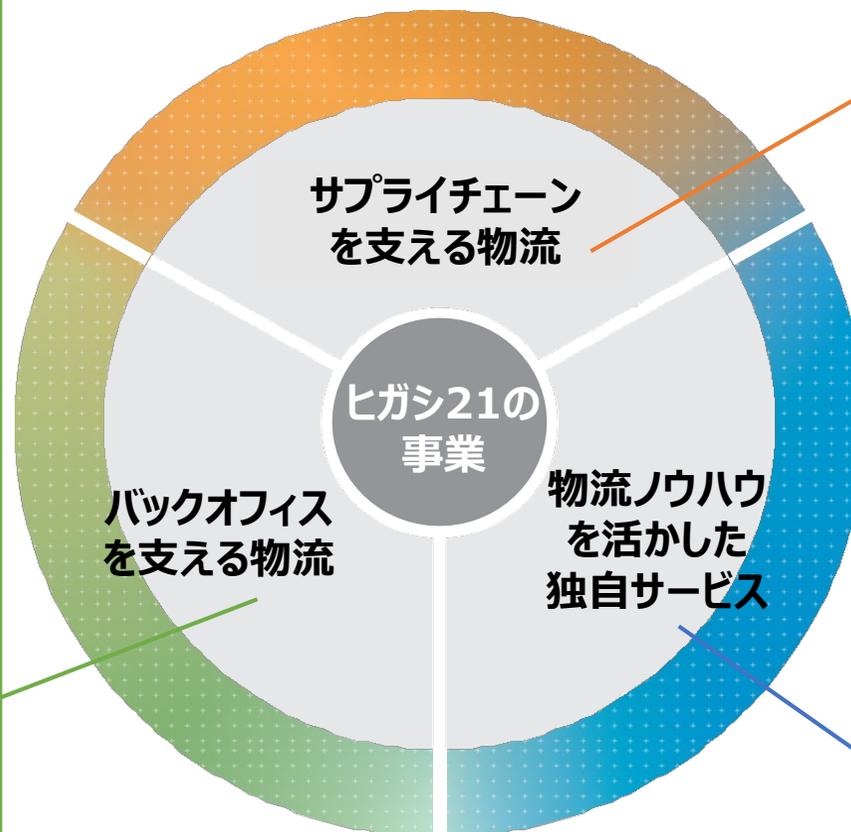
- オフィス移転



- ビル内デリバリーサービス



- 総務系物流・BPOソリューション



- 3PL・総合物流サービス



- PCキitting・IT関連サービス



- 介護用品レンタル・販売サービス





運送及び倉庫事業全般、グループ管理・企画業務



精密機器の運送及び
設置等



【物流】
保管、梱包、封入、
発送業務
【人材・ITサービス】
企業様向け受託業務



ビル館内における総務
サービス業務



運送事業に特化



引越に関わる荷役及び
梱包等



事務所移転業務・引越
に関連するワンストップ
サービスの提供



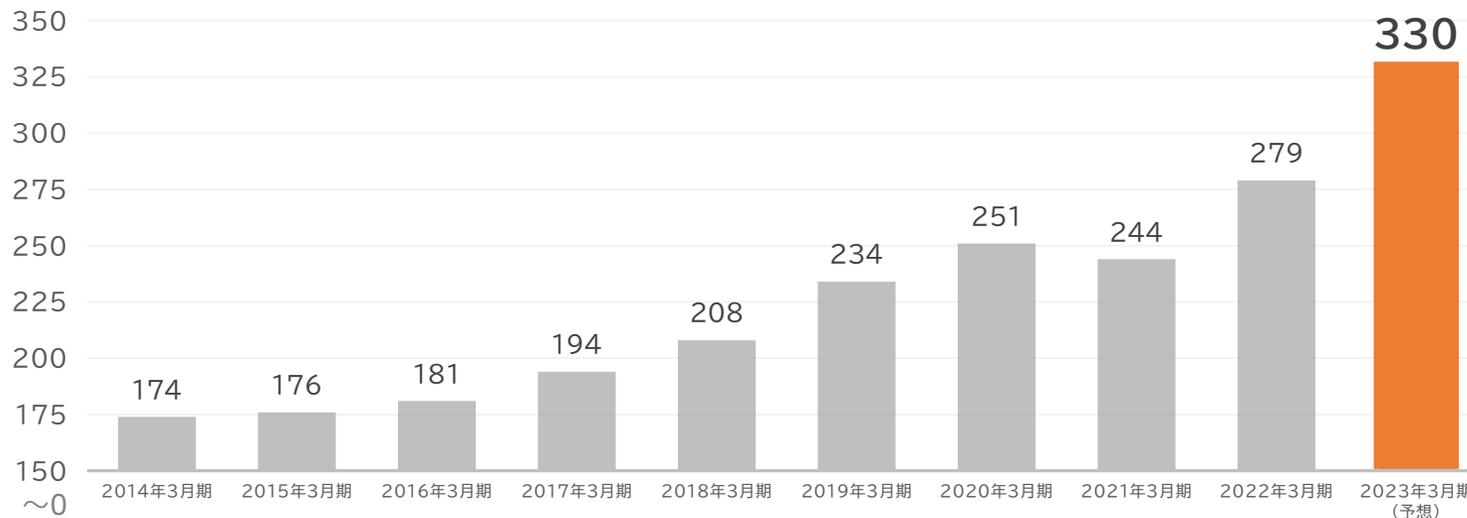
重量物配送・エンジニア
リング事業（機械据付・
メンテナンス等）



システムに関する技術サ
ポート全般

売上高

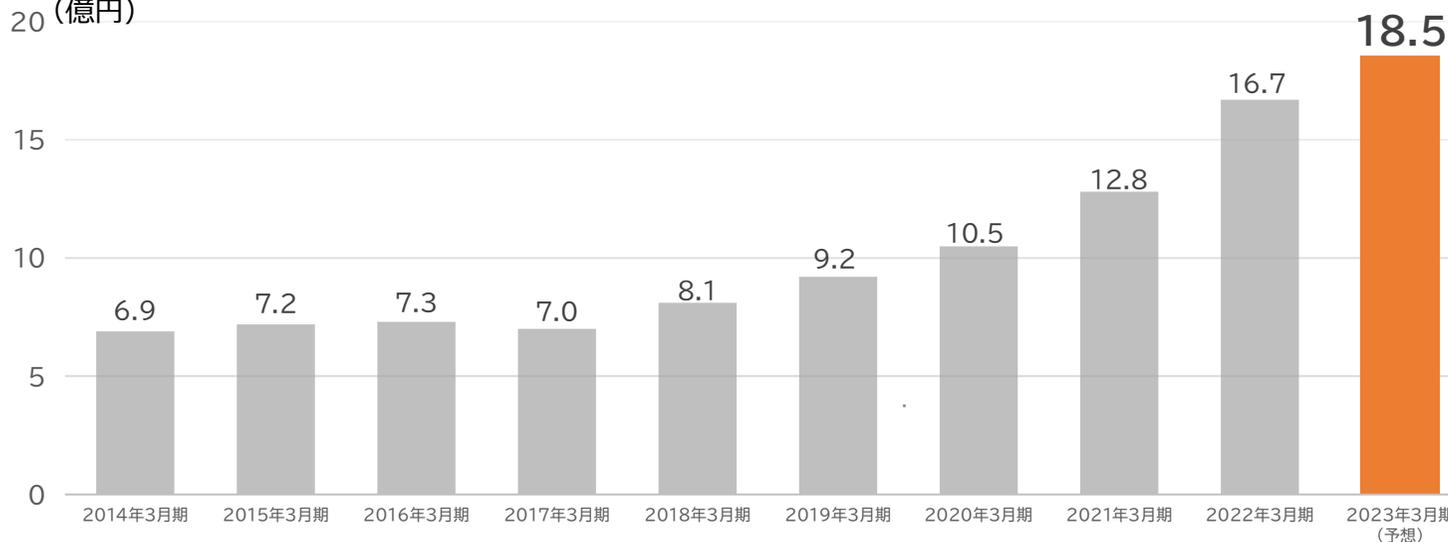
(億円)



2014年3月期比
+ 89.6%

経常利益

(億円)



2014年3月期比
+ 168.1%

長期ビジョン（目指す姿・スローガン）

お客様に最高のサービスをお届けするために
変革し続ける企業

Evolution for Customers

——— 全進で未来へ “シンカ” ———

"シンカ" → 新価 = 進化・深化・新化

経営基本理念

「安全」と「安心」を大切にして
物流事業を通じ社会に奉仕する
私達ヒガシ21

長期ビジョン

グループVISION2030

経営理念

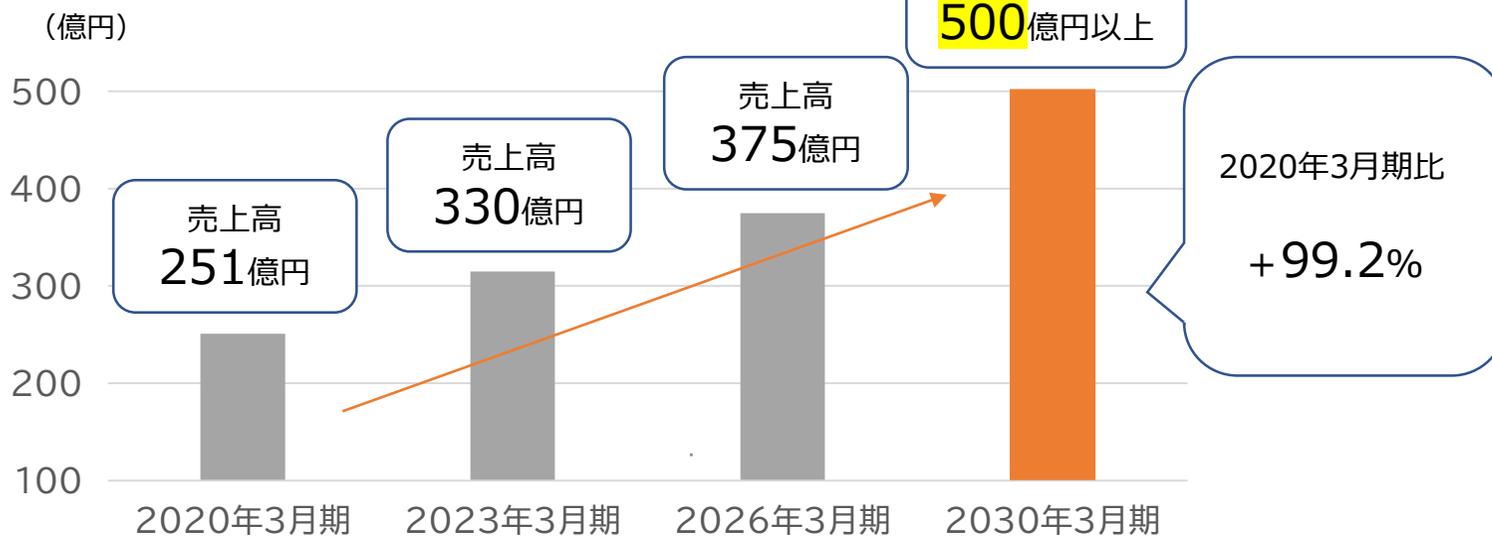
長期ビジョン（目指す姿・スローガン）

お客様に最高のサービスをお届けするために
変革し続ける企業

Evolution for Customers

—— 全進で未来へ “シンカ” ——

グループVISION2030 成長イメージ



① 幅広い分野の大手優良顧客層を安定収益基盤としていること

日本生命グループ、関西電力グループ、毎日新聞社グループは主要株主でもある

主要顧客上位の売上比率（2022年3月期）（単位：百万円）

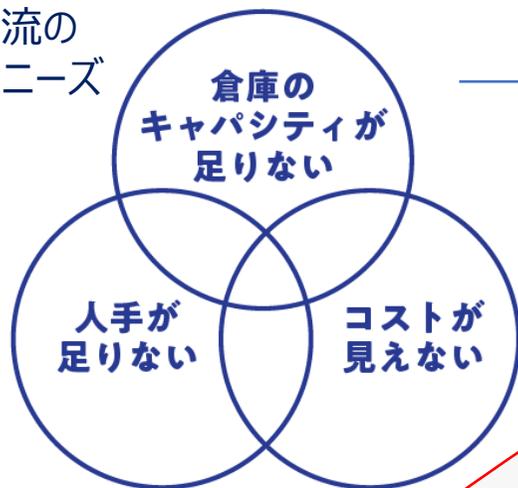
順位	顧客	売上高
1	日本生命グループ	4,743
2	関西電力グループ	3,294
3	大手e-コマース会社	1,591
4	上場オフィス什器メーカー	656
5	毎日新聞社グループ	619
~~~~~		
上位10社売上占有率		46%

② 個々の顧客ニーズに対応した物流設計能力（※）

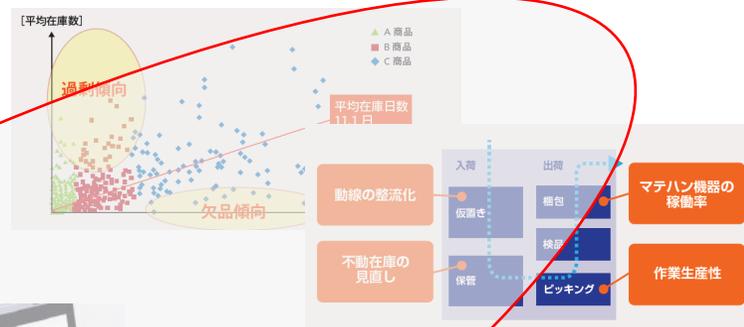
（※）複雑なモノの流れに対応した【人×倉庫×マテハン×車両×システム】を最適に組み合わせる能力を表現した、当社グループの造語

提案から立ち上げ、安定稼働までワンストップで最適なご提案が可能

物流の  
3大ニーズ



ABC分析



ベンチマーク  
分析



多様なソリューション  
提供

稼働分析



改善「提案力」

+

提案「実現力」

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

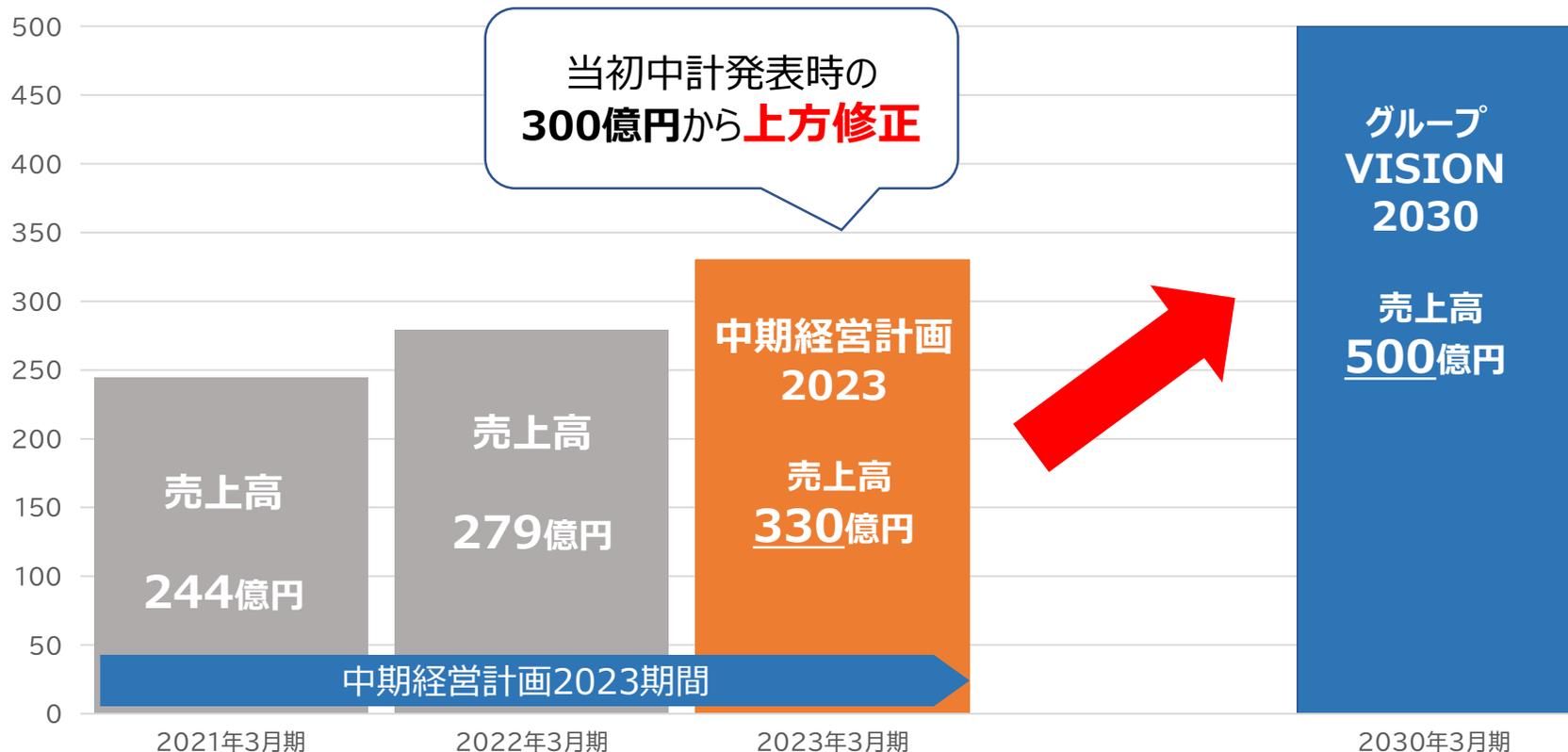
6

サステナビリティ

中期経営計画2023の3年間は、長期ビジョン達成に必要な高い成長率を獲得するためのスタートアップ期間として位置付け

売上目標

(億円)



- ・成長ドライバーと考える「オフィスサービス」「ビルデリ」「3 PL」で揺るぎない事業基盤を確立
- ・「M&A」で成長スピードを加速

## オフィスサービス事業

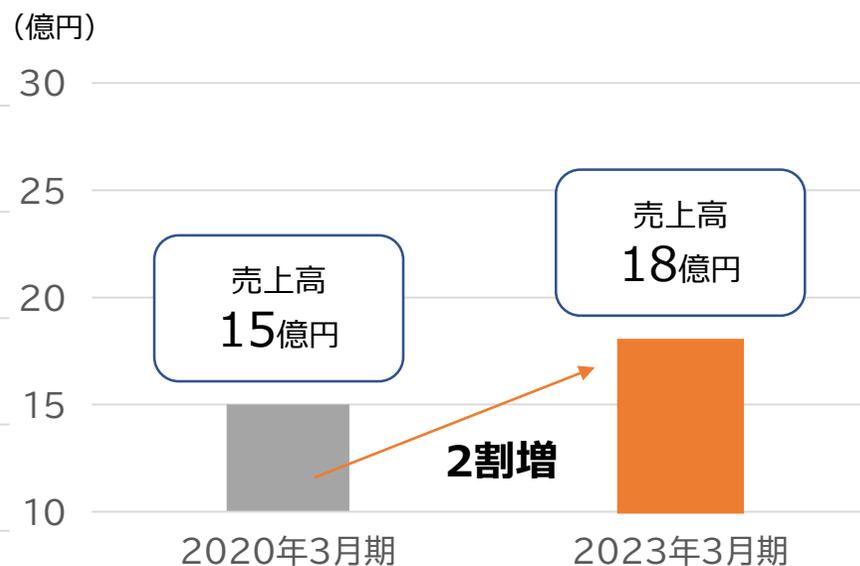
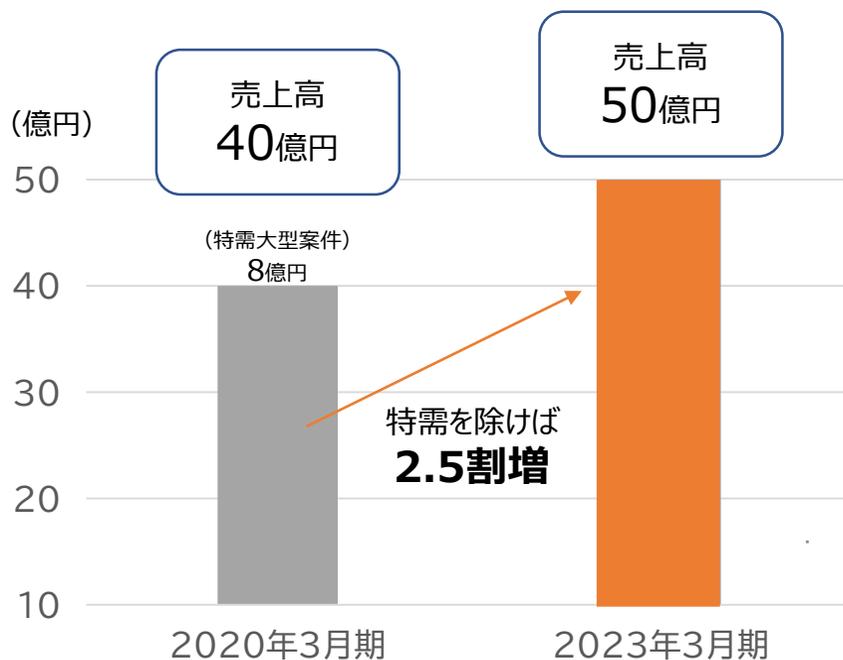


事業領域の拡大  
(移転・引越の多様化対応)

## ビルデリバリー事業



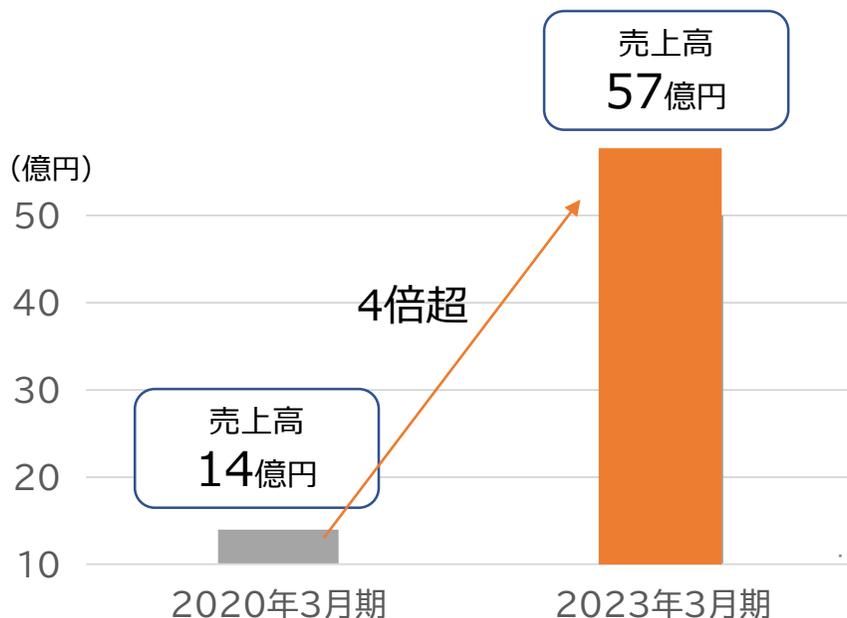
ビルデリ事業の更なる推進に加え、  
メール室事業を事業の柱に加える



- ・成長ドライバーと考える「オフィスサービス」「ビルデリ」「3PL」で揺るぎない事業基盤を確立
- ・「M&A」で成長スピードを加速

## 3PL事業

e-コマース及び  
インフラ会社資材3PLへ  
重点を移行



## M&A

ヒガシ21グループの輸送力、物流設計力、  
ITを活用したサービス力などを生かし、  
新規事業領域も含め重点事業領域を強化

- ◆単なる売上拡大ではなく、ヒガシ21グループの中長期戦略とのマッチングを重視
- ◆M&Aを専門的に行う事業開発部の人員増強
- ◆M&A後のPMIに有効なグループガバナンスを実行するためのホールディングス機能の強化

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

6

サステナビリティ

2023年3月期第3四半期における売上高・経常利益ともに過去最高を更新

	第3Q実績	対前年同期比	通期予想進捗率
売上高	25,120 百万円	+ 28.0%	76.1%
営業利益	1,455 百万円	+ 35.8%	81.7%
経常利益	1,554 百万円	+ 27.8%	84.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	991 百万円	+ 23.9%	84.7%

## 売上高・経常利益の主な増収増益の要因

- ・ **2021年10月より開始したインフラ会社向け資材調達3PL事業の通年化**
- ・ 当期首より新たに連結開始した山神運輸工業のエンジニアリング事業の増加
- ・ オフィスサービス事業の順調な拡大
- ・ 2022年10月より旅人の連結開始

### 資材供給・納品、手続きの各社関係



インフラ会社向け資材調達3PL事業の流れ



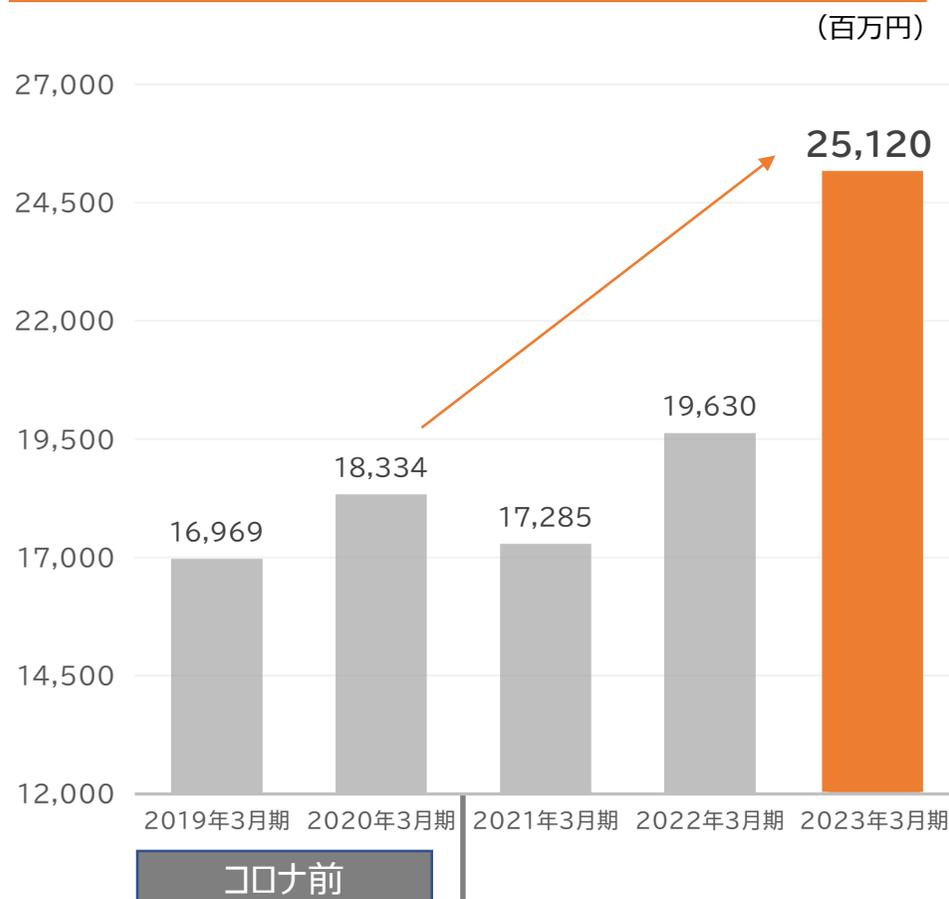
山神運輸工業のエンジニアリング事業



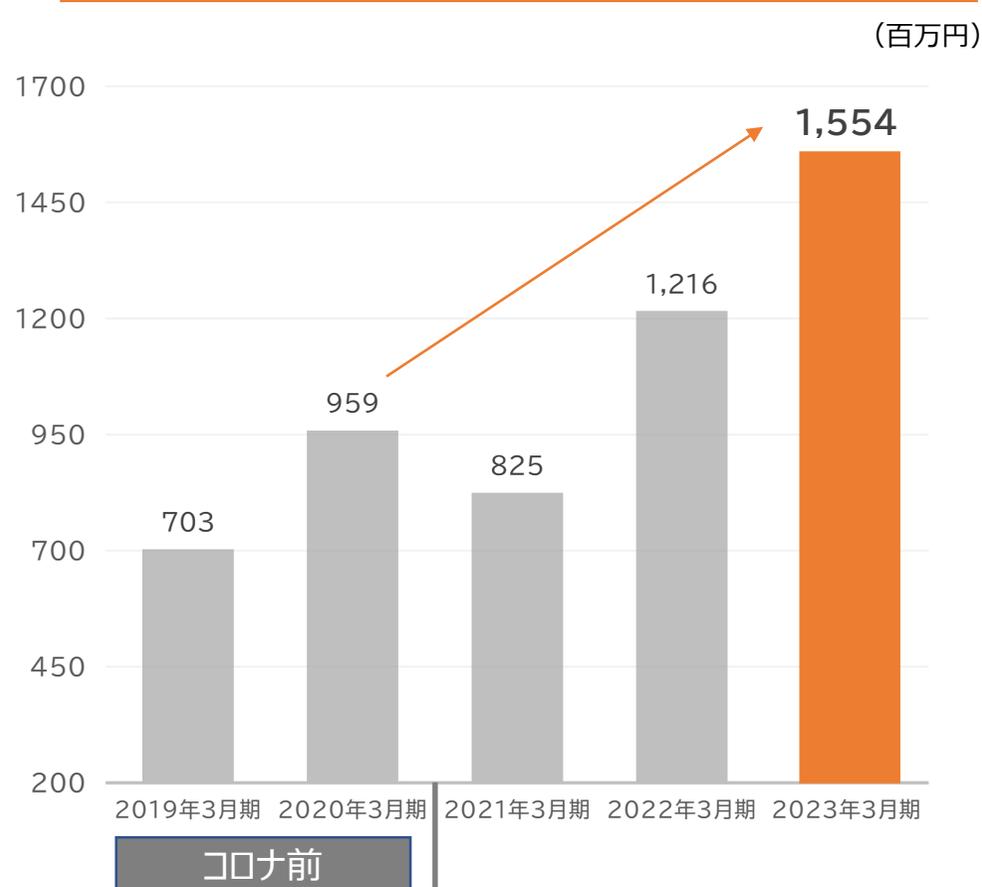
旅人のシステムサポート事業

- 2021年3月期時点では、コロナ禍の影響で一時落ち込み
- 業容拡大、業務効率性の向上による損益分岐点の引き下げにより、2022年3月期以降は売上・利益ともにコロナ禍前水準を上回り、成長基調を確保

## 売上高 (第3四半期)



## 経常利益 (第3四半期)



## 過去最高を見込んでいた当初予想を、2022年10月に更に上方修正

- 下半期、2023年4月～以降予定している大型新センター開設に係る初期投資費用や、中期的な成長を牽引する重点事業領域への人材投資等を予定しているものの、2Qの実績が予算を大幅超過したことに加え、2022年10月より新たに旅人社が連結すること等により、通期でも売上・利益共に当初予算を超過する見込みであるため、上方修正

(百万円)

当初中計発表時は  
300億

	2023年3月期 期初予想 (2022.04)	
	実績	構成比
売上高	31,500	--
営業利益	1,680	5.3%
経常利益	1,750	5.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,110	3.5%
1株当たりの 当期純利益 (円)	84.35	—

2023年3月期 修正発表 (2022.10)			
実績	構成比	期初予想との差	
		増減額	増減率
<b>33,000</b>	--	<b>+ 1,500</b>	<b>+4.8%</b>
<b>1,780</b>	<b>5.4%</b>	<b>+ 100</b>	<b>+6.0%</b>
<b>1,850</b>	<b>5.6%</b>	<b>+ 100</b>	<b>+5.7%</b>
<b>1,170</b>	<b>3.5%</b>	<b>+ 60</b>	<b>+5.4%</b>
<b>88.91</b>	—	—	—

参考

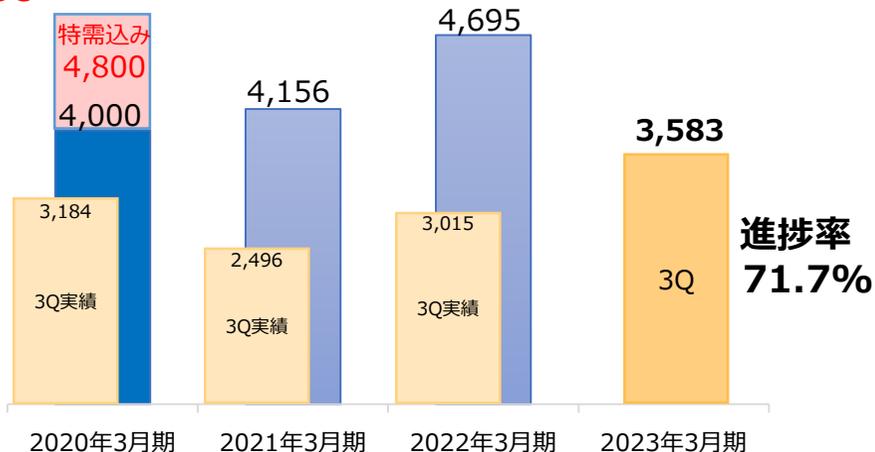
2022年3月期	
実績	構成比
27,953	--
1,475	5.3%
1,610	6.0%
1,120	4.0%
85.92	—

## オフィスサービス事業

主に首都圏での業容拡大および西日本での大型ビル移転受注等で堅調に推移しており  
中期目標**達成**見込み

(単位：百万円)

当初中期目標  
5,000

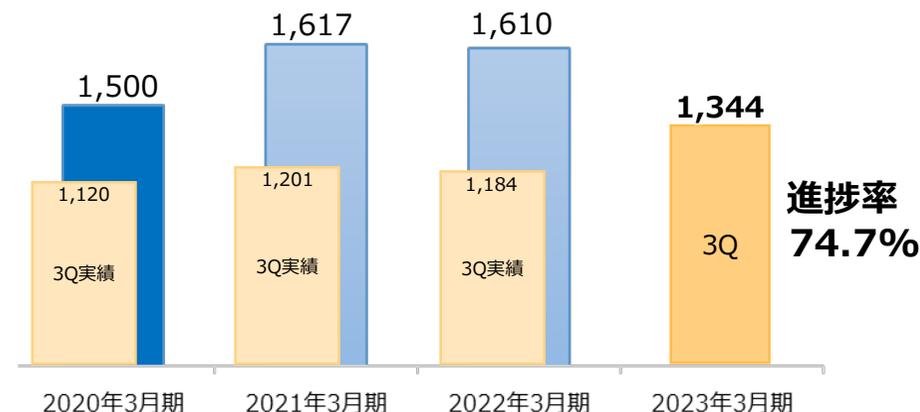


## ビルデリバリー事業

コロナ禍の人流抑制による影響を強く受け、  
中期目標の達成には更なる進展が必要

(単位：百万円)

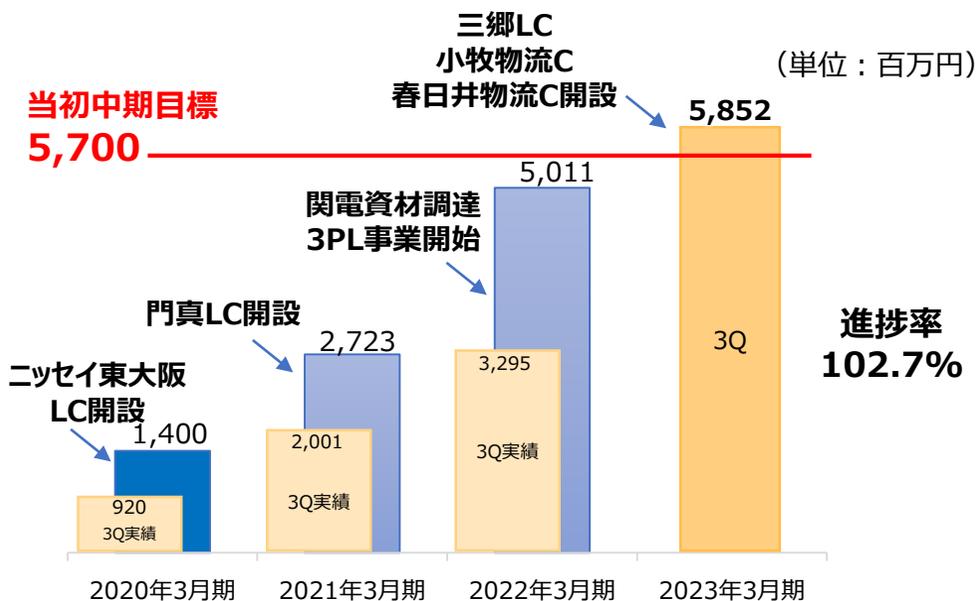
当初中期目標  
1,800



※ 進捗率は当初中期目標に対する2023年3月期3Q実績の割合で算定しております。

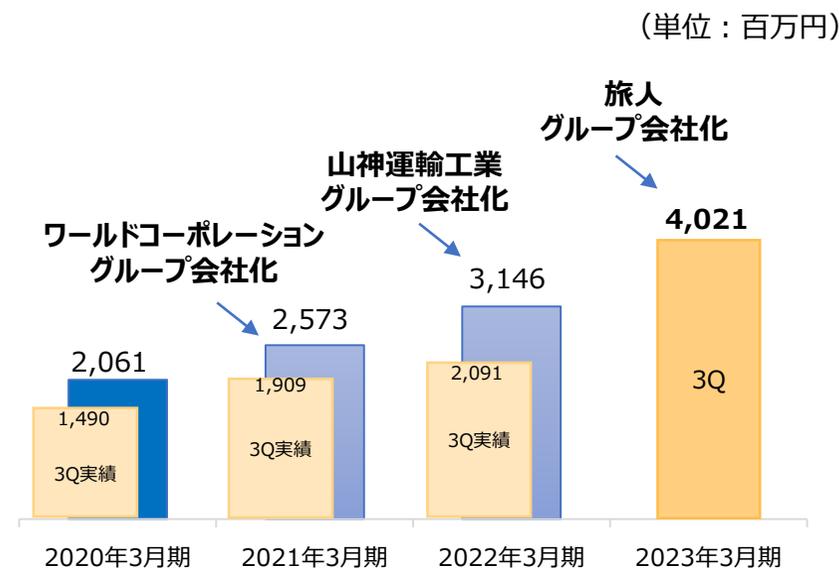
## 3PL事業

積極的な業容拡大により、  
3Q時点で中期目標**超過達成**



## M&A

グループの総合力を高めるべくM&A戦略を加速



※ 進捗率は当初中期目標に対する2023年3月期3Q実績の割合で算定しております。

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

**トピックス**

5

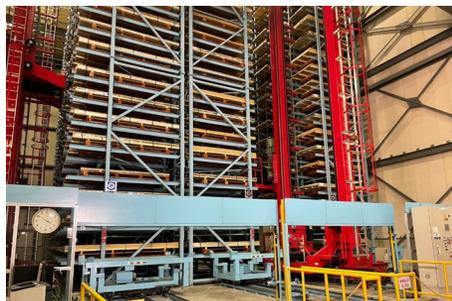
株主還元

6

サステナビリティ

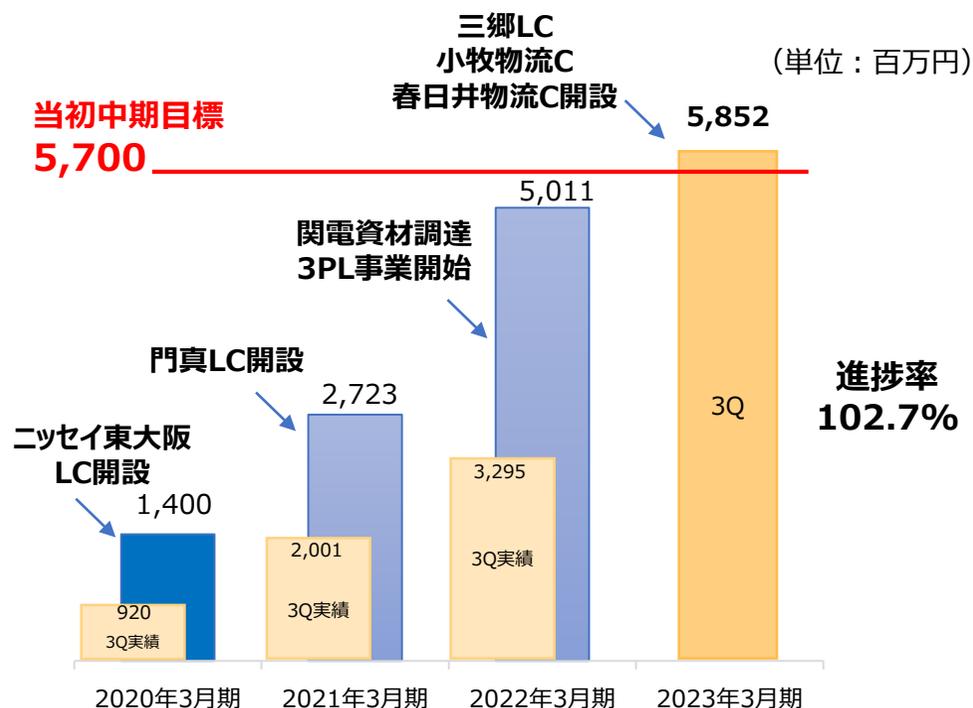
## 3 PL事業への注力

- ・ 旺盛なEC需要等の取り込みに向け、中期経営計画において重点事業領域として取組み売上を拡大してきた
- ・ 今後も重点事業として位置付けるなか、倉庫等への積極的な投資を行い、マーケットニーズを取込む



## 3PL事業

積極的な業容拡大により、  
3Q時点で中期目標**超過達成**



・2022年11月大手工作機械メーカー様の3PL業務新規受託に伴い、愛知県春日井市「プロロジスパーク春日井」内に新規物流拠点を開設



建物名称	プロロジスパーク春日井
本社所在地	愛知県春日井市明知町字西之洞1189-19 →東名高速道路「春日井IC」から約6km、 中央自動車道「小牧東IC」から約4km →JR中央線「高蔵寺」駅から約6km
賃貸面積	約2,500坪（5階）
稼働開始	2022年11月1日

・EC物流事業者様向けの3PL業務の新規受託に伴い、兵庫県西宮市、並びに千葉県流山市に新規物流拠点を開設

建物名称	GLP鳴尾浜	DPL流山IV
本社所在地	兵庫県西宮市鳴尾浜一丁目20番2 →阪神高速5号湾岸線「鳴尾浜」ランプ至近 →阪神電車「武庫川団地前」駅 約2.5km	千葉県流山市平方字上谷383 →常磐自動車道「流山IC」約2.5km →東武アーバンパークライン「江戸川台」駅 徒歩約20分 →東武バス「DPL流山東2」バス停 約850m
賃貸面積	約5,500坪（4階）	約14,900坪（1階）
稼働開始	2023年4月より本格稼働	2023年4月予定
施設写真		

・2023年4月大阪府茨木市に約6,000坪2階層の倉庫を新規開設予定

<完成イメージ>



建物名称	北大阪ロジスティクスセンター
本社所在地	大阪府茨木市宮島 （茨木市北大阪流通センター内） →北大阪トラックターミナルから約1km →近畿自動車道「摂津北IC」から1.4km
賃貸面積	約6,000坪（倉庫4階のうち3・4階部分）
稼働開始	2023年4月

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

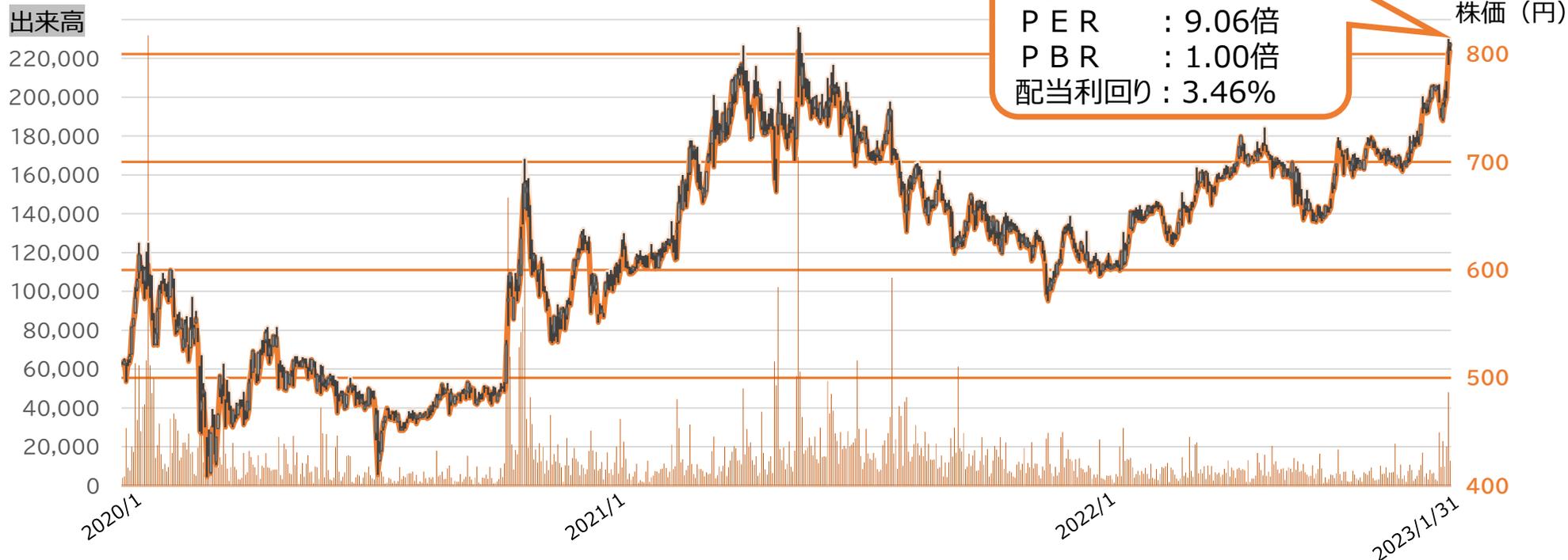
5

**株主還元**

6

サステナビリティ

## 株価推移 (2020/1/6-2023/1/31)



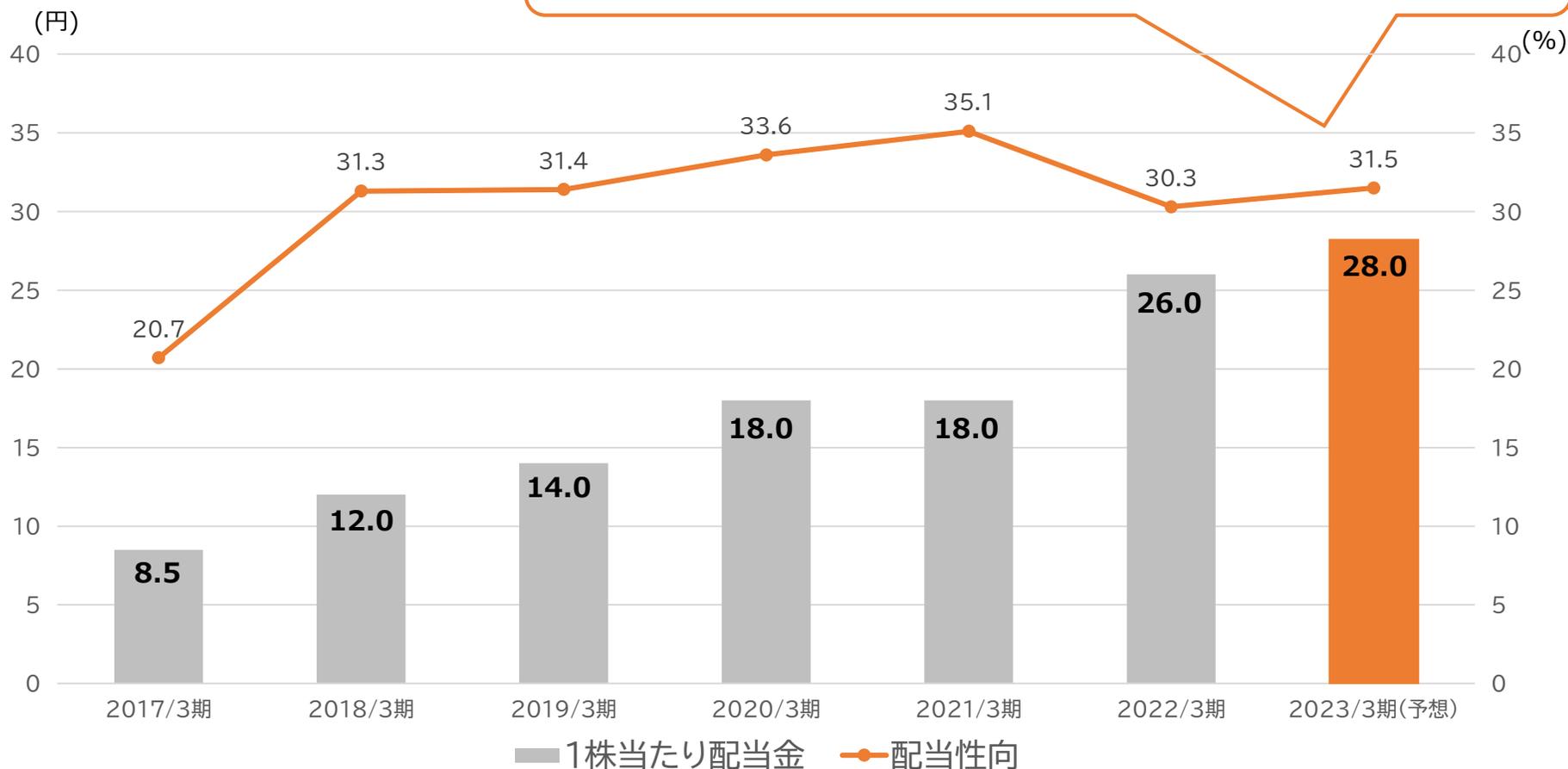
## 時系列株価 (年足)

	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)
2023/1/31迄		725	814	716	809	+91 +12.7
年	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)
2022		660	732	571	718	+78 +12.2
2021		555	825	544	640	+82 +14.7
2020		515	703	408	558	+41 +7.9
2019		405	528	402	517	+89 +20.8

当社は株主の皆様への利益還元を重要課題の一つと認識しており、連結配当性向30%以上を目安に、安定的かつ継続的な配当を実施していく方針です。

## 1株当たり配当金・配当性向の推移

中期経営計画「1株当たり20円の配当」の当初目標を上方修正し、2023年3月期は、「**1株当たり28円の配当**」を予定



## 制度内容

実施回数	毎年1回
基準日	毎年9月末日
優待内容	<p>①500株以上1,000株未満保有の株主 ⇒ 1,000円相当のクオカード</p> <p>②1,000株以上2,000株未満保有の株主様 ⇒ 2,000円相当のクオカード</p> <p>③2,000株以上保有の株主様 ⇒ 4,000円相当のクオカード</p>
長期保有特典	500株以上を1年以上継続保有の株主様 ⇒ 1,000円相当のクオカード

1,000株保有時の計算例（2023年3月期実績 / 予想通りの配当 28円の場合）

（■投資金額（時価） 809円×1,000株 = 809,000円）

■受取配当金 28円×1,000株 = 28,000円

■受取株主優待 2,000円

■長期保有特典 1,000円（1年以上保有の場合）

合計 31,000円

【前提条件】

配当日は2023年6月：28円予想/株

株価は2023年1月31日基準：809円/株

株主優待込みの利回り：31,000円÷809,000円×100 = 3.83%

（優待を除く配当利回りは3.46%）

ご参考： 株式平均利回り（2023年1月末時点） ※東京証券取引所公表資料  
プライム市場の株式平均利回り 2.27% / スタンダード市場の株式平均利回り 2.40%

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

トピックス

5

株主還元

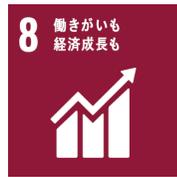
6

**サステナビリティ**

### 事業活動を通じたSDGs目標達成への貢献

- 物流効率化による省エネ・地域コミュニティの環境改善、配送業者の作業負荷軽減への貢献
- 住みやすい都市・資源循環の促進に資する静脈物流の展開
- 資材調達 3 PL事業の展開による物流の生産性及びエネルギー効率の向上
- 配送・営業車両への低公害車導入推進による、大気汚染物質排出削減の取り組み

当社はSDGs 目標達成に向けた貢献が期待できると判断され、(株)三井住友銀行から『SDGs 推進融資』を受けております。  
(2020年12月/2021年12月)





### 環境

#### 低公害車導入推進

- 導入推進と意識啓発に向け、低公害車車両にステッカーを貼付し、運行
- 低公害車トラック10%以上導入目標を設定（2023年3月期）

#### エコドライブの推進

デジタルタコメーターの有効活用によるアイドリング時間の軽減

#### CO2削減電力プランの導入

多久ロジネットセンターでグリーン電力使用による実質CO2排出ゼロを実現（対2021年度比▲111トン）

- ・ 低公害車推進プロジェクト（車体貼付用ステッカー）



- ・ 多久ロジネットセンター外観





### 社会

#### 交通安全への取組

- 交通安全教室の開催
- こどもミュージアムプロジェクトの実施  
(絵画コンテスト・トラックラッピング実施)

#### 労働環境の整備

- 大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証  
取得（2つ星）
- 「働きやすい職場認証」取得  
(対象会社 5社)

#### 社会貢献活動への参画

- ヒーローズカップ（小学生ラグビー）協賛

- ・ こどもミュージアムプロジェクト（ラッピングトラック）



- ・ ヒーローズカップの様子





（コーポレート）ガバナンス

開かれた経営への取組

- 2019年指名委員会等設置会社へ移行

取締役会

- ▶ 執行役及び取締役の監督
- ▶ 経営基本方針決定

報酬委員会

- ▶ 中長期的な業績向上につながる役員報酬の検討を通じて、役員報酬の客観性・妥当性を確保

指名委員会

- ▶ 取締役候補の選定プロセスの客観性・妥当性を確保

監査委員会

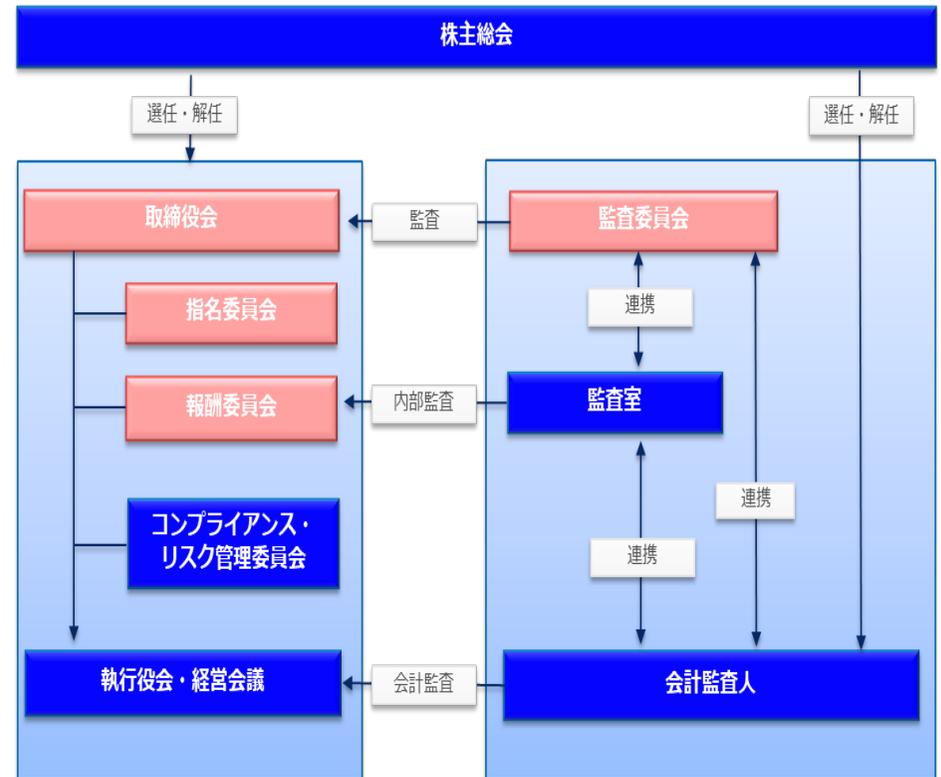
- ▶ 独立的立場から会社の業務執行が公正妥当か否かを監督

- ・ 上記の会議体全てで社外取締役過半数を確保
- ・ 取締役会は10名（男性8名、女性2名）で構成

※ 指名委員会設置等会社の割合は

プライム3.9%/スタンダード0.8%に留まる

・ ガバナンス体制図



# 『時空価値創造企業』を目指す

## (注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシ21グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

## ■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/>

その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

